

大学競泳用プールにおける 地域中高齢者を対象とした水泳プログラムの開発

渡邊 恵*, 中村好男**

* 早稲田大学大学院人間科学研究科

** 早稲田大学スポーツ科学学術院

キーワード: 水泳 プログラム開発 大学競泳用プール 中高齢者

抄 録

本研究では、S県T市W大学のアクアアリーナを取り上げ、大学競泳プールでの、中高齢者を対象とした水泳プログラム実施の可能性を探ることを目的として、1)施設設備、2)プログラム内容、3)利用料金、4)指導者、5)ニーズの存在、の5つの観点から、水泳プログラムを展開するための阻害要因の分析ならびにプログラム評価を行った。

本研究の調査結果を要約すると以下のようになる。1)施設設備:参加者の水泳プログラム前後の不安度と施設への評価から、アクアアリーナでの水泳プログラムには参加を阻害する要因は存在しない。2)プログラム内容:メディカルチェックの結果を取り入れることや、コース分け、日誌の作成がプログラムの個別性を高め、参加者の満足度の向上に影響する。3)利用料金:参加者の許容する見込み参加費が、算出された経費を下回った。プログラムを運営するための費用を正確に把握し、参加者が抵抗なく支払うことのできる価格との妥協点を探ることが求められる。4)指導者:学生でも十分に参加者の満足を得ることができる。5)ニーズの存在:施設周辺での水泳に対する関心の高まりと、水泳実施者の特徴が明らかになった。

本研究の結果は、アクアアリーナをはじめとして大学競泳プールの運営に有益な情報であると考えられる。今後は、地域住民とともにアクアアリーナの可能性をさらに検討していくと同時に、今後の水泳および運動・スポーツのための人材の育成の場の設立につながることが期待される。

スポーツ科学研究, 2, 86-96, 2005年, 受付日:2005年4月15日, 受理日:2005年7月22日

連絡先:渡邊恵, 〒359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15 早稲田大学大学院人間科学研究科

[wtne.a.kei-s@asagi.waseda.jp](mailto:wtnbe.a.kei-s@asagi.waseda.jp)